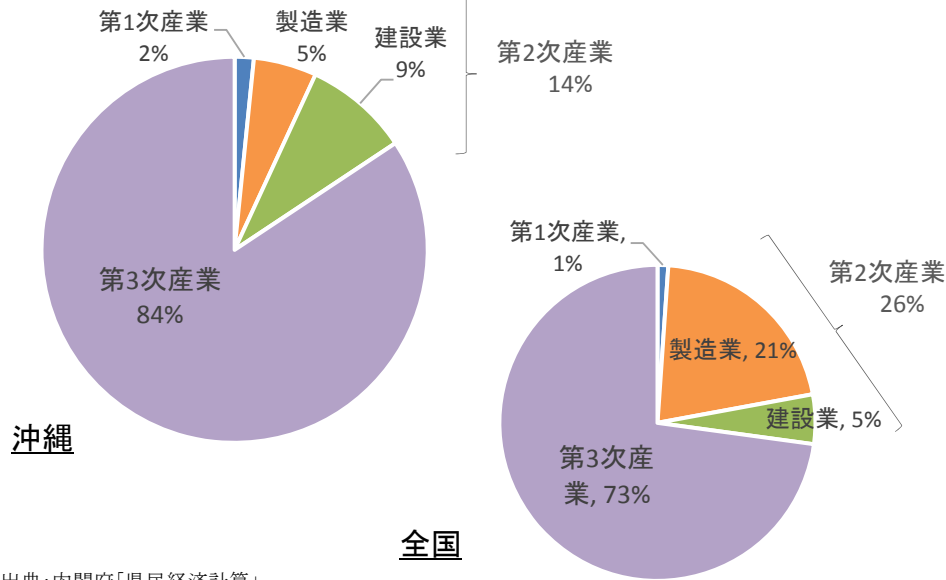


1. 産業構造・観光・物流・IT

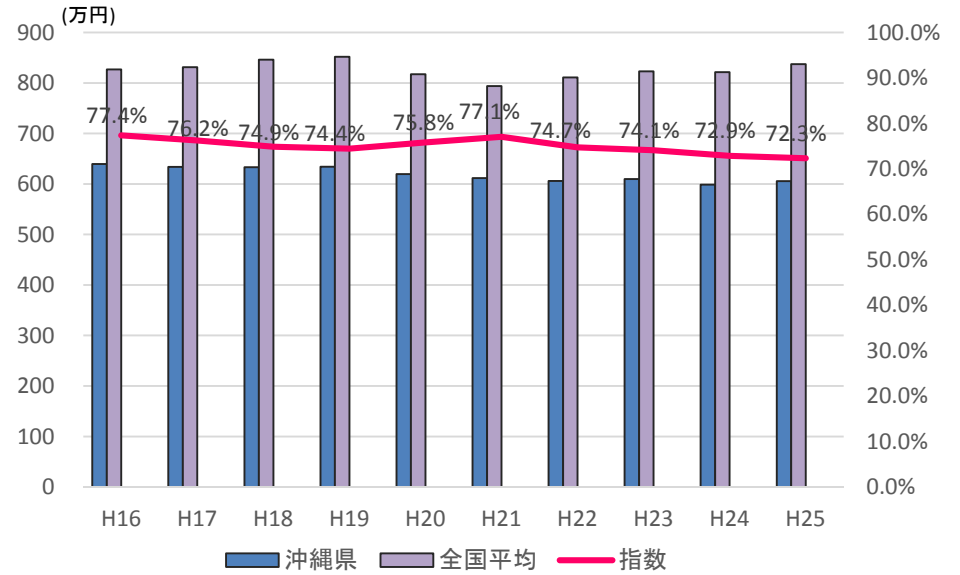
1-1. 産業構造について

(1) 実質県内総生産(平成25年度)



出典:内閣府「県民経済計算」

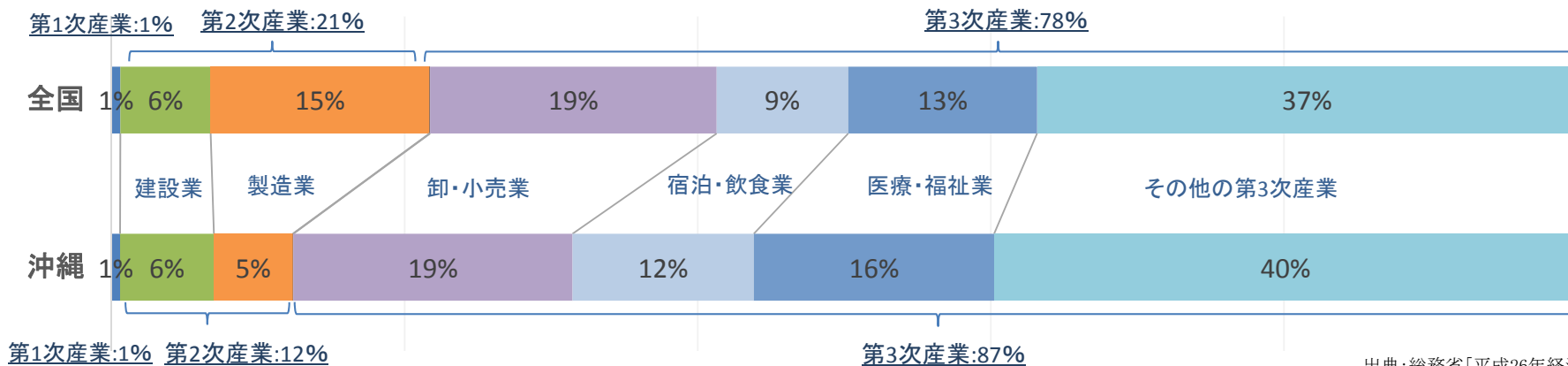
(3) 労働生産性の推移



1)労働生産性=名目県内総生産÷県内就業者。
2)指数は全国平均を100とした沖縄県の水準。

出典:内閣府「県民経済計算」

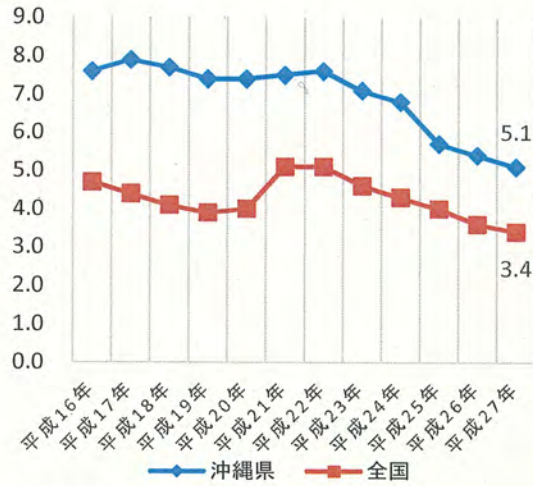
(2) 産業別従業員割合(平成26年)



出典:総務省「平成26年経済センサス基礎調査」

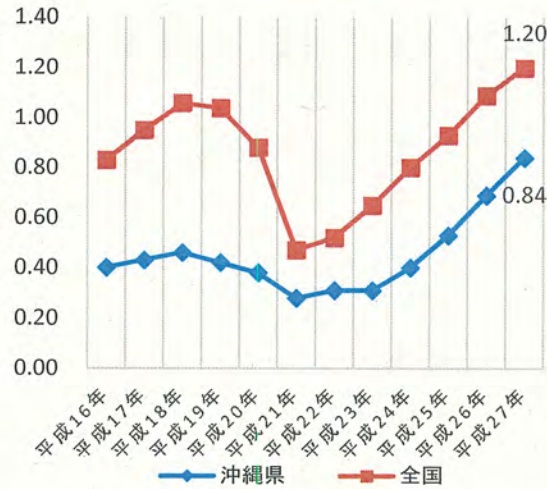
1-2. 雇用形態と県民所得について

(1-1) 完全失業率



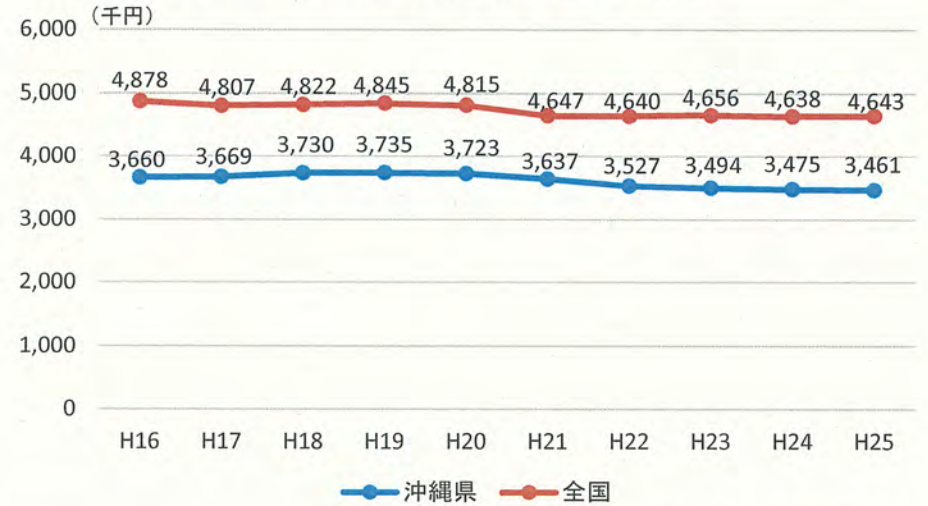
出典:総務省「労働力調査」

(1-2) 有効求人倍率



出典:厚労省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

(3) 雇業者一人当たりの雇業者報酬の推移



出典:内閣府「県民経済計算」

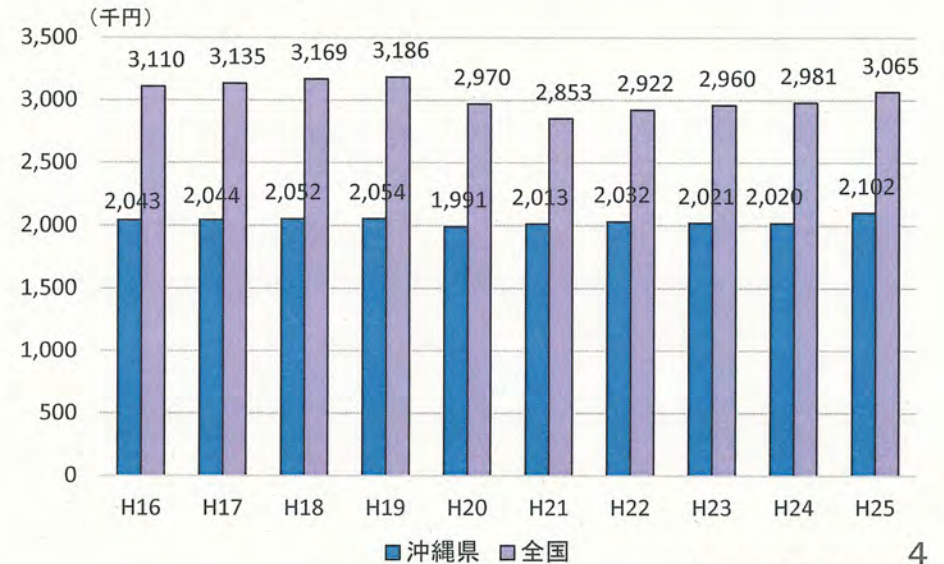
(2) 沖縄県内の非正規雇用者数(平成24年)

	非正規職員数	(内訳)			割合	全国平均
		パート	アルバイト	派遣・契約		
総数	237,500	92,000	59,300	60,900	45%	38%
第1次産業	4,700	1,400	1,700	600	64%	52%
第2次産業	26,700	8,500	11,000	3,900	34%	25%
製造業	9,900	6,200	1,600	1,500	37%	26%
建設業	16,800	2,300	9,400	2,400	32%	21%
第3次産業	193,000	77,000	42,700	53,400	45%	42%
情報通信業	4,000	600	500	2,400	37%	18%
卸売・小売業	46,800	26,600	13,200	5,400	59%	50%
宿泊・飲食業	30,600	12,400	14,500	2,800	71%	73%
医療福祉業	32,700	14,000	1,500	13,100	40%	39%

※割合は非正規従業員数を全従業員数(会社などの役員を除く雇用者数)で除した値

出典:総務省「平成24年就業構造基本調査」

(4) 沖縄県と全国の一人当たり県民所得の推移

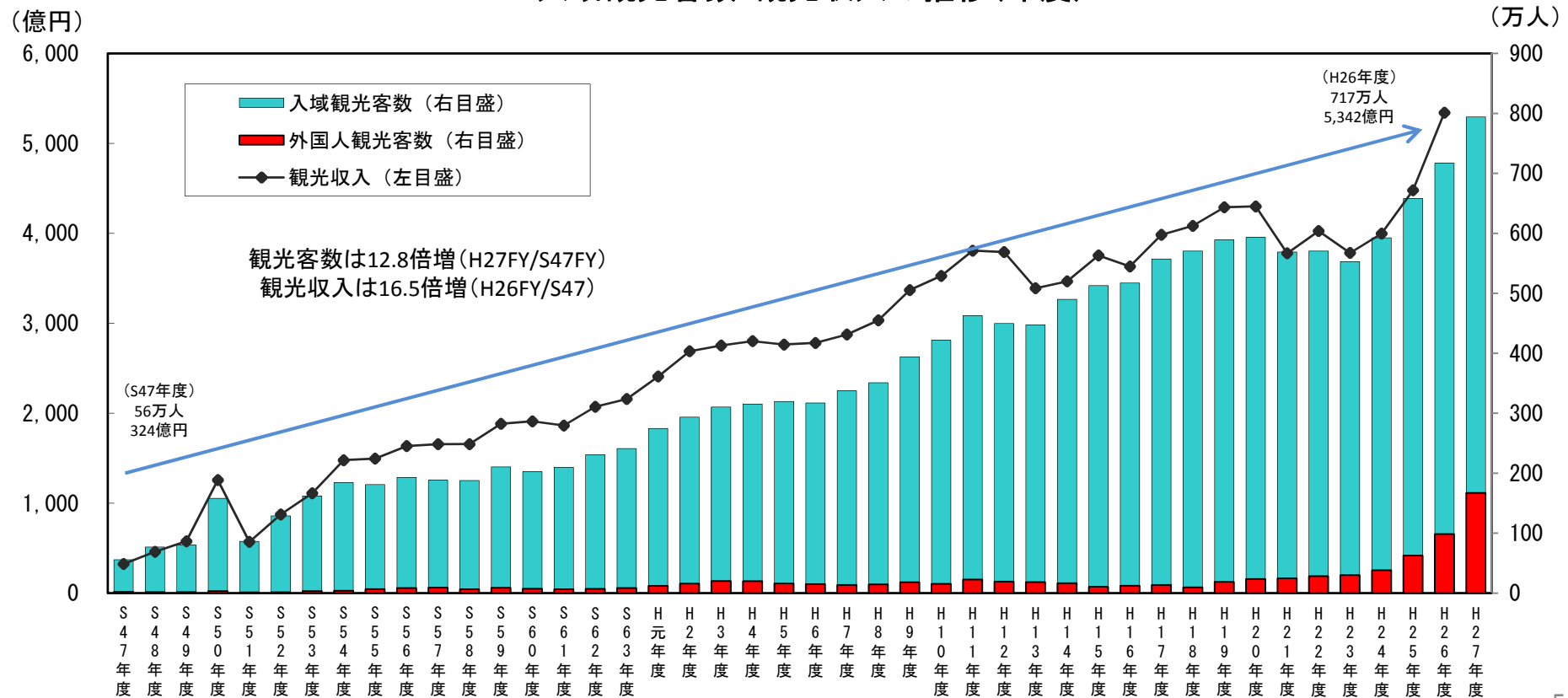


出典:内閣府「県民経済計算」

1-3. 主要産業の状況について<観光の現状>

	昭和47年度	平成17年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
・入域観光客数	56万人	557万人	658万人	717万人	794万人
・観光収入	324億円(暦年)	4,057億円	4,479億円	5,342億円	—
・平均滞在日数(1人当たり)	—	3.80日	3.83日	3.84日	—
・観光消費額(1人当たり)	73,132円(暦年)	72,421円(暦年)	68,062円	74,502円	—
・外国人観光客比率	2万人	14万人	63万人	99万人	167万人

入域観光客数・観光収入の推移(年度)



1-3. 主要産業の状況について<沖縄の世界遺産>

- 平成12年12月、オーストラリアのケアンズで開かれたユネスコの第24回世界遺産委員会で「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産として決定・登録。
- 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」は、琉球が琉球王国への統一に動き始める14世紀後半から王国が確立した後の18世紀末にかけて生み出された、琉球地方独自の特徴を表す文化遺産群。

